絵画過程の紹介:ノアザミ 2021.12 skoike

1. 作者(伊藤みゆきさん)による制作過程のお話

日本列島は世界に類をみない 150 種以上のアザミの多様性がみられる島国だそうです。ノアザミの細部の特徴を描くことをテーマにして、

- ①上部に小花(しょうか)が開花する時間経過を配し、
- ②その下に総苞(そうほう)を置きました。 総苞には粘りがあり、アザミの種の特徴が観察できる大事な器官です。
- ③ノアザミの葉の特徴として、根元に生える根生葉(こんせいよう)が 花期まで残る種類であることを左の茎に描きました。
- ④右の茎には茎葉(けいよう)を置きました。葉の付け根が茎を抱くように生え、そこから花の茎が分かれて出ます。
- ⑤花が上向きに咲くこともノアザミの特徴です。 切断図により頭花(とうか)の特徴を示しました。
- ⑥各パーツを配して、動きを感じる構図を創りました。
- ・根と葉脈の流れ方向、葉先の向き、
- ・茎や蕾の曲がり具合などを調整しました。
- ・右上から左へ 1/3、下へ 1/3 の位置あたりの位置の葉のコントラストや彩度を調整して焦点(最初に注目される部分)を作り、
- ・そこから、その下の茎葉と茎から根の方向に右回りに視線を誘導し、
- ・左の茎の下から上方に沿って観ていただくように配置しました。
- ・葉先のトゲの鋭さも視線誘導に効いています。

⑦配色は、根の赤系、花の青紫系、葉の黄緑系をあちこちに散りばめて、且つごちゃごちゃ感を押さえてスッキリと クリアーにしました。

2. 視線誘導の改善





